



田村正幸

高齢者のふれあい交流事業への取り組みと共同浴場休業日の高齢者への有効活用について

湯沢町も高齢化が進んで高齢化率は24.5%、2千164人の方が居ます。町では元気老人の育成事業として、シルバー温水体操や健骨体操などの取り組みをし、担当課職員の頑張りもあって参加者も増えていきます。また、社会福祉協議会と連携して敬老会や高齢者運動会などの事業を行い、高齢者から大変喜ばれています。その日を待ち望んでいる人も居ます。人と出合い交流することで元気を回復し、自分のできることで社会に貢献し、生きている喜びを感じる。このような高齢者が増えています。そこで今後の

# 高齢者事業の取り組みについて

一般

質

問

高齢者事業の取り組みについて伺います。

## 質問

①町、社協、老人会の事業計画を見ても冬期の事業が少ない。新規の高齢者の冬期事業に取り組み考えはないか。

## 町長答弁

新規の事業については、



高齢者の新しいスポーツ「グランドゴルフ」

町の職員や社会福祉協議会の職員だけではむずかしいボランティアを必要としている。今後の研究課題とします。温水健康体操や健骨体操の充実と周知PRをしていきたい。

## 質問

地域の施設を使ってお弁当やお茶を飲みながら健康教室や交通安全教室等をする、ふれあいの場が行政指導のもとでできないか。

## 町長答弁

ふれあいサロンのなものには今後一生懸命取り組んでいきます。

## 質問

②高齢者にふれあい交流の場として、岩の湯を月1回程度（午前10時～午後3時）高齢者に開放し有効活用できないか。

## 町長答弁

管理人を休ませなければならぬ。休業日には修繕や大きく清掃をすることから難しい。

## 質問

岩の湯の人件費を除いた一日の灯油、水道、電気代は約2万円。年24万円が年寄りや喜ぶ。管理清掃は地域ボランティアで対応できないか。

## 町長答弁

いい例があれば聞かせて頂いて協議し研究していきたい。

## 質問

③小地域ネットワーク活動やふれあい、いきいきサロン活動を地域に積極的に展開すべきと考えるが、今後の取り組みについて。

## 町長答弁

湯沢町ファミリー健康プランを周知して取り組んで

いきたい。積極的にボランティアを募って痴呆の方、閉じこもりの方が気軽に参加できる、地域のお茶の間として開催できるように周知し頑張っていきたい。

## 質問

④高齢者スポーツとしてグランドゴルフが人気があり、高齢者の健康と交流の場としても有効活用されている。町でも中央公園陸上競技場のサブグラウンドで開設している。しかし町内の利用者が多くない状況である。グランドゴルフ育成と情報の提供などが必要と考える。今後の取り組みについて

## 町長答弁

最近高齢者にグランドゴルフが人気あることを聞いています。健康増進、交流のスポーツとして定着するか、公民館と検討研究したい。芝張りやサブグラウンドの利用状況を見て判断したい。